大人が楽しめる
紙芝居ライブ

もろはしせいこう
超大型紙芝居の世界 vol.2

紙芝居「セロひきのゴーシュ」

130×90cmの原画ならではの大迫力!

2021 4月18日(日)／19日(月)

14:00開場　14:30開演　　13:30開場　14:00開演

会　場　長岡リリックホール・シアター

諸橋精光の38年間にわたる超大型紙芝居活動の集大成。前半は個性豊かな4人の語り手を迎え、お寺の鳴り物やギターを交えた、諸橋お気に入りの3作品を実演します。後半は新作2作品。この紙芝居のために作曲家桑原ゆう氏が書き下ろしたオリジナル曲をチェロ・クラリネットが奏でる実演は、130×90cmの超大型だから可能になった「音楽紙芝居」です。日本独自の伝統文化である紙芝居の、新たな舞台芸術としての可能性に挑みます。

●料金　2,000円（当日2,500円）【全席自由】定員350席（コロナ感染状況により変わることがあります）

●チケット取り扱い　〈チケット販売開始3月1日より〉
◆市民協働センターチケットサービス（アオーレ長岡西棟3F）TEL 0258-39-2020（9:00～17:00土日可）
◆長岡リリックホール（〒940-2108 長岡市千秋3丁目1356番地6）

●お問い合わせ　◆諸橋精光（〒940-0088 長岡市柏町1-5-12 千手観音千蔵院）TEL&FAX 0258-33-1962

もろはしせいこう 超大型紙芝居の世界 vol.2

2021 4月18日(日)／19日(月)

会場 長岡リリックホール・シアター

●脚本・作画 諸橋精光（もろはしせいこう）

絵本・紙芝居作家。長岡市生まれ。創形美術学校造形科、大正大学仏教学部卒業。20代後半より仏教説話を中心とした絵本・超大型紙芝居の制作を始める。ブラティスラヴァ世界絵本原画展出品、ボローニャ国際絵本原画展入選。高橋五山賞、正力松太郎賞、土屋文明記念文学館賞など受賞多数。千手観音千蔵院住職。

●作曲 桑原ゆう

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大大学院修了。在学中より国内外の音楽祭、セミナー等に参加。世界各地の音楽祭で作品が取り上げられている。74、75、78回日本音楽コンクール作曲部門入選等、受賞歴多数。近年は日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを主なテーマに創作を展開している。
ウェブサイト http://3shimai.com/yu/

●出演 〈指揮・法螺貝〉諸橋精光
〈語り〉今井和江・菊池好江・ときわひろみ・本多ちかこ
〈引き手〉堤貞子 〈引き手・妙鉢〉諸橋香也子
〈太鼓〉目黒秀平 〈ギター・大銅鑼〉山井小多加

●友情出演 〈ギター・小銅鑼〉長谷川裕二

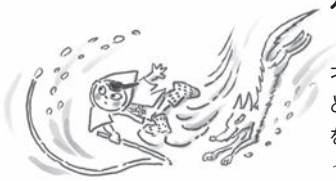
●ゲスト出演 〈語り〉福島梓 〈チェロ〉佐藤翔 〈クラリネット〉西村薫

（事情により変更することがあります）

●演目

4/18公演	水仙月の四日	ごんぎつね	こがねの舟	セロひきのゴーシュ	やまなし
4/19公演	村の地蔵	こがねの舟	鬼のつば	セロひきのゴーシュ	やまなし

〈演目紹介〉



水仙月の四日
原作／宮沢賢治
語り **菊池好江**

北国の春には晴天が突然吹雪となる日がある。少年と雪童子の友情を軸に、凄まじい吹雪と生命の再生を詩的イメージ豊かに描く宮澤賢治の傑作童話。

ごんぎつね
原作／新美南吉
語り **本多ちかこ**

いたずらぎつねのごんと兵十との物語。国語の教科書に必ず載っている国民的な名作童話。つぐないをしようとするけなげなごん。ラストの衝撃が胸を打つ。

こがねの舟
原作／あまんきみこ
語り **今井和江**

湖におきざりにされた武将と幼い息子。夕方幼子は輝く湖面に無数のこがねの舟を見る。ギターを交えたまばゆいばかりの紙芝居世界。諸橋の音楽紙芝居の始点となった作品。

村の地蔵
原作／宇野浩二
語り **ときわひろみ**

願いをきく地蔵ときかぬ地蔵。きく地蔵は本当にどんな願いもかなえてくれる。村人と二つの地蔵を通して人間の欲望、本当のしあわせとは何かを問いかける。

鬼のつば
今昔物語より
語り **本多ちかこ**

鬼につばを吐きかけられ姿を消された侍の数奇な物語。異界で侍は人の心と鬼の心の間で迷い決断する。お寺の鳴り物を使った諸橋紙芝居の代表作。

セロひきのゴーシュ
原作／宮沢賢治
作曲 **桑原ゆう** 語り/4/18 **今井和江** 語り/4/19 **菊池好江**

音楽会が間近なのに、セロひきのゴーシュはあまりに下手で楽長にしかられてばかり。そんなゴーシュの家に毎夜動物がやってくる。動物たちとの交流を通じてゴーシュの心の解放を描く宮沢賢治の代表作。作曲家桑原ゆうがこの紙芝居のために8曲を作曲、チェリスト佐藤翔のアグレッシブな「インドの虎狩り」は圧巻。

やまなし
原作／宮沢賢治
作曲 **桑原ゆう** 語り **福島 梓**

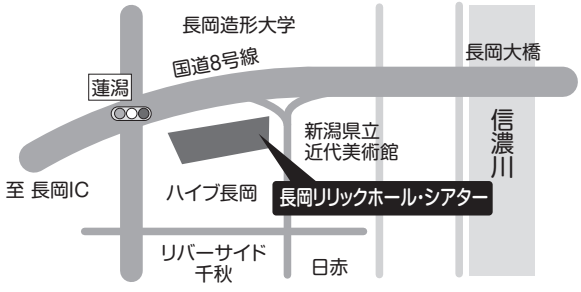
幼い沢ガニの兄弟が住む水底の世界を描いた詩的な童話。5月は陽光きらめく中に生存の怖れを、11月は冷たい月光の中に自然の恵みと安らぎを描く。国語の教科書に載っている。桑原ゆう作曲、チェロ、クラリネットによる芸術的アンサンブルと、俳優福島梓の語りと、超大型紙芝居との融合。諸橋精光がコロナ禍中に制作した最新作。本邦初演。

●チケット料金
2,000円（当日2,500円）【全席自由】定員350席（コロナ感染状況により変わることがあります）

●お申込み（チケット販売開始3月1日より）
◆**市民協働センターチケットサービス**（アオーレ長岡西棟3F）
TEL 0258-39-2020（9:00～17:00土日可）
◆**長岡リリックホール**（〒940-2108 長岡市千秋3丁目1356番地6）
◆**諸橋精光**（〒940-0088 長岡市柏町1-5-12 千手観音千蔵院）
TEL&FAX 0258-33-1962

●お問い合わせ 諸橋精光 TEL&FAX 0258-33-1962 E-mail／senzouin@nct9.ne.jp

主催／超大型紙芝居実行委員会
協賛／デザインワークK2
後援／長岡市 （一財）文民教育協会子ども文化研究所 紙芝居文化推進協議会

●本公演は小学生くらいから大人の年齢層を対象としています。

会場 長岡リリックホール・シアター
〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6